

第 296 回

エフエム石川放送番組審議会議事録

議 題

業務概要の報告

試聴と質疑・意見交換

令和 2 年 7 月 2 2 日

株式会社エフエム石川

第 296 回エフエム石川放送番組審議会

1. 開催年月日 令和 2 年 7 月 22 日
2. 開催場所 IT プラザ武蔵 5F 研修室 3
3. 委員の出席
総委員数 7 名
出席委員数 5 名

出席委員の氏名（50音順）

委員長 : 柳澤良一

委員 : 金井辰樹、久保 勉、平木孝志、宮川昌江

放送事業者側出席者氏名

代表取締役社長 平田信也

放送担当部長 安地昭博

4. 議題
業務概要の報告
番組試聴と質疑・意見交換

議事内容

[業務概要の報告]

番組については、1月26日に放送され2月の審議会で大変良い評価だった特別番組「浅川マキ 没後10年メモリアルプログラム『LONG GOOD-BYE』」が日本民間放送連盟賞の中部北陸地区審査会エンタテインメント部門で1位となり、中央審査会に出品されることが報告されました。

また、エフエム石川における新型コロナウイルスの感染拡大防止策について改めて具体的な説明が行われ、番組のリモート収録や番組終了ごとにスタジオ内の除菌を行っていることなど10項目の対策が報告されました。

イベントについては、例年実施している各種イベントはすべて中止となったものの、4月には開局30周年記念事業として「防犯ブザープレゼントキャンペーン」がスタートし、県内の新小学一年生全員に防犯ブザーが配布されたことが報告されました。

[番組の試聴と質疑・意見交換]

【試聴番組】

番組タイトル：シーズニング シーズン ユア ライフ ウィズ ミュージック
Seasoning ~season your life with music~

放送日時：6月2日(火) 13:30 - 15:55 (うち14時台が試聴対象)

出演：パーソナリティ：市川美絵

火曜パートナー：乙武洋匡 (作家、タレント)

企画・制作：ジャパン・エフエム・ネットワーク

【番組内容】

番組はJFN系列局で2018年4月にスタートしていますが、エフエム石川では2019年10月から放送している平日午後のワイドプログラムです。

FMラジオの要である音楽。その音楽とイマを切り取るリアルな言葉でリスナーとの2Wayプログラムを構成しています。14時台は日替わりのパートナーを迎えて放送し、火曜日の名物コーナー「乙武が気になる！」では、乙武洋匡が政治や社会問題、スポーツなど今気になっている話題について話をしています。新型コロナの影響で業界全体が初めての経験となったリモート制作でのラジオ番組について講評をいただきます。今回試聴の回は4/13から始まったリモート制作の終盤でリモートでの出演や会話のキャッチボールにも随分慣れてきています。翌週からはスタジオに戻ってアクリル板を挟んだ放送でお送りしています。

■久保委員

全体を聴いていないので乱暴な意見になってしまうと思いますが、前半の「私の遊び心」というテーマでのやり取りが個人的にはあまり良くなかったと感じました。乙武さんの自虐的なトークはそれが売りだと分かっているにもかかわらずラジオで聴くと辛く、サービス精神からくるものだと思いますが、やり過ぎている部分があると感じました。後半の「乙武が気になる」のテーマの「ブラック・ライブズ・マター」は良いと思います。二人のやり取りはラジオ番組の王道といった感じで、安定感がありました。市川美絵さんは明るくハッキリと喋っていて聞き取り易く、テンポも良かったです。

リモート番組としてはまったく違和感がなく、安心して聴くことができました。「巣ごもり」の今こそラジオへの関心が高まっており、新しい番組にも挑戦できるのではないかと思います。コロナ禍でのラジオのチャンスを活かしてほしいです。

■平木委員

出演者の喋りは聞きやすかったです。ただ、前半の「私の遊び心」がテーマでの会話は、ノリは良いのですが二人とも笑い過ぎている印象がありました。二人で楽しく笑い合っていますが、私には（そのノリが）伝わってはきませんでした。サービス精神なのか、二人のノリには作られているような雰囲気を感じられました。「乙武が気になる」で取り上げられた、今世界で話題になっている「ブラック・ライブズ・マター」については、乙武さんらしいテーマでの取り上げ方で、真面目に喋られていたと思います。

■金井委員

リモートでの出演は私自身にも経験がありますが、非常に難しいです。この番組は出演者の方々が慣れていた頃だったということもあってか、全くストレスなく聞くことが出来て聞き易く素晴らしいと思いました。コロナ禍で差別や不平等といったテーマが注目されている中、乙武さんのような方が出演して語るということ自体に対して興味深く聴けました。好感を持った部分は、市川さんが乙武さんとの障害に関する会話で遠慮するのではなく、普通に語っていたところです。お笑いコンビ「ナインティナイン」の岡村氏の発言を擁護する部分に関しては違和感を持ちました。これに関しては出演者の認識が甘く、場合によっては炎上しかねないと思いました。また、乙武氏自身の Youtube チャンネルへの誘導めいた発言がありましたが、一番おいしい部分をラジオでは伏せていることに関して、今後の Youtube と既存のメディアとの位置関係について考えさせられました。

■宮川委員

最初、乙武洋匡さんはどういう方なのかは知らなかったのですが、元気で明るく障がい者であるということを感じさせない話ぶりでした。(これまで乙武さんにはいろいろな事があったが) まだまだ乙武さんからいろいろな話を聞いてみたいと感じました。リモートは自然と声が大きくなる傾向にあるので、会話が少し騒がしく聞こえました。「私の遊び心」の部分はあまり重みのない内容でした。一番気になったのは、岡村氏の発言への擁護をしていた部分です。ラジオへの批判の上塗りになるのではと腹立たしく思いました。(発言や事実などに関して) 良いか悪いかは聴いた人が決めるのであって、放送で発言するものではないと思います。音楽に関してですが、曲名の紹介が1曲しかなかったので、曲目をもっと紹介して欲しかったです。黒人差別に関しては、改めてラジオを聞いている方たちへのメッセージになったと思います。

■柳澤委員長

リモートの放送でこんなに声がキレイに聞こえるのかと驚きました。あまり違和感がなくスタジオにいるような感覚で聞けました。そんな時代になったのだということを実感したことが発見でした。ツイッターのつぶやきが後半で出てきましたが、「ブラック・ライブズ・マター」のあと、聴取者の反応がすぐに聞けることこそラジオの長所だと思いました。これを活かして、意見を番組中にすぐに反映することが出来ればもっと聴く人が増えていくのではないかと思います。前半については、長い番組の中ではなくただ部分もあって良いのではないかと思います。音楽も含めてさらっと聴けて、緩める所と引き締める所をうまく交えているところは、聞いている人を飽きさせず良いと思いました。

全体としては、前半の方が評判があまり良くなかったようです。後半は真剣な話で、聞く人の気持ちを惹きつけるところがあり良かったという意見が多かったようです。

[審議会の答申、または改善意見に対してとった措置]

制作者に内容を伝達

[議事の概要を公表する場合の日時や内容]

第 296 回番組審議会の議事概要の公表

令和 2 年 8 月 8 日(土) 19:55 ~ 20:00 に放送

掲載書面の備え置き、及びインターネット・ホームページへの掲載